

北海道手をつなぐ育成会 げっぽう

第811号

昭和39年3月13日第三種郵便物認可第10号(毎月1日発行・定価一部10円会費に含む)
●発行日—令和7年(2025年)8月1日
●発行所—札幌市中央区
〒060-0002 札幌市中央区
北2条西7丁目かでの2・7(4F)
電話 011-251-0855
FAX 011-251-0804
Eメール doikusei@air.ocn.ne.jp
●発行人—佐藤春光
印刷所 (株)北海道機関紙印刷所

令和7年度

北海道手をつなぐ育成会

総会・研修会開催(6/14 かでの2・7)

事業所協議会

令和7年度定期総会を終えて

ワークセンターるーぷ『ひので』

センター長 門内 勇治



門内新会長

6月14日(土)、北海道手をつなぐ育成会事業所協議会の令和7年度定期総会が、かでの2・7にて開催されました。

した。会場には20事業所38名、オンラインでは15事業所29名、合計31事業所67名の方が集い、私も身の引き締まる思いで出席いたしました。開会にあたり、竹田雄三会長が活動を振り返り、特に昨年札幌で開催された全国手をつなぐ事業所協議会全国研修大会の成功に触れ、参加者への感謝を述べられました。そのお言葉一つひとつに、先達が築き上げてこられた歴史の重みを感じたところです。

議長に選出された山田大樹氏(のぼりべつ東町ふれあいホーム)の議事進行のもと、昨年度の事業・決算報告から新年度の事業計画まで、全ての議案

は皆様の温かい拍手をもって承認されました。心より御礼申し上げます。

そして、この総会には私にとって、忘れられない日となりました。長きにわたり協議会を牽引してこられた竹田

会長、そして幹事の佐藤春光氏が、この日をもってご退任されました。



竹田会長・佐藤幹事

竹田会長はこれまでの歩みを感慨深く語り、「これからは新しい、若い人たちが盛り上げてほしい。そして役に立つ事業所協議会であってほしい」と、未来を託す温かいエールを送ってくださいました。また、佐藤氏からは、一時期体調を崩されていたものご回復され「元気でいられるうちは全道を回って皆さんを元気づけたい」という、心強いお言葉をいただきました。お二人が注いでこられた情熱とご尽力に、改めて心からの敬意と感謝を申し上げます。その重く、そして温かいバトンを、この度、皆様のご承認をいただき、私、門内が新会長として受け継がせていた

かでの閉館中の事務局業務について

9月17日(水)~26日(金)の期間、道育成会事務局が入っている道民活動センタービル(かでの2・7)が、改修工事のために閉館します。このため、事務局業務は次のようになりますので、ご理解をお願いします。
◎おかけになった電話は転送されます。道育成会から発信する電話番号は通常と異なる番号となります。

◎FAXは送信・受信できません。

◎メールは通常通り対応できます。

◎9月22日(月)・26日(金)は事務局を閉鎖します。

くこととなりました。私自身、無認可共同作業所の時代から、この協議会の先輩方にどれほど支えられ、助けられてきたか分かりません。そのご恩返しも含め、これから2年間、「役に立つ事業所協議会」を目指し、皆様と共に汗を流し、誠心誠意務めてまいります。総会では、今年予定されている事業についても報告がありました。9月27日には「道育成会全道大会千歳大会」が予定されています。全道の仲間と再会し、深く学び合える貴重な機会です。ぜひ、皆様と会場でお会いできることを楽しみにしております。

新会長として、まだまだ未熟な私ですが、皆様のお力添えなくして前には進めません。どうぞ、これまでと変わ

(2面に続く)



らぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。皆さんと共に、この協議会の新たな歴史を刻んでいけることを、何よりも心強く感じております。これからどうぞ、よろしくお願いいたします。

令和7～8年度 役員

会長	門内 勇治
副会長	岩間 安泰、高橋 雄介
幹事	小川謙太郎、池原 恒介
監事	弓山 祐子、高崎 雄平
	菊地 英文、若松 修一
全国育成会事業所協議会運営委員	
門内 勇治	
道育成会理事	
岩間 安泰、門内 勇治	

事業所協議会研修会

虐待ゼロの環境実現に向けて

NPO法人伊達市手をつなぐ育成会相談支援事業所ハンド所長の山本家弘氏をお招きし、「利用者の方に良い支援をしていきたいと思うかどうか」をテーマに、虐待ゼロの環境実現に向けての研修に参加しました。



講師の山本氏

研修では、厚労省などの様々な資料から、

人権侵害というつらい実態、そして多くの事業所が抱える厳しい運営状況や深刻な人材不足といった課題に改めて向き合う時間となりました。

虐待が起こる原因のトップ3が「教育・知識・介護技術の問題」「職員のストレスや感情コントロールの問題」「倫理観の欠如」であり、この事実が十数年も変わっていないことに、私たちはとさせられます。虐待は「特別な誰か」が起こすのではなく、閉鎖的で過酷な環境に追い込まれれば起きてしまう事実を職員一人ひとりが「自分ごと」として深く受け止めることが大切だと感じます。

特に、虐待を受ける方の7割以上が知的障害のある方だという現実には、私たちの事業所が、何よりも真摯に向き合うべきテーマです。かつての入所施設で起きていたような、プライバシーのない環境や「体罰」という名の暴力を、決して繰り返してはなりません。私たちはこれまで以上に温かい倫理観を育んでいく必要があるのだと思います。

今回の研修を受け、虐待の根っこにあるのは、風通しの悪さや、私たち一人ひとりの中にある「人間の弱い部分」なのかもしれない、と感じました。私たちはその弱さと向き合いながら、利用者一人ひとりの「こうしたい」「こう感じている」という意思や気持ちを、丁寧にすくい上げていく努力が不可欠です。

研修では、よりよい支援を目指すための「6つの視点」も教えていただきました。「理念」「人財」「ガバナンス」「環境」「スキル」「風通し」です。日々の業務のなかで、「何か困っている

ことはないかな」「暮らしの中で、どう感じているかな」と、ご本人の想いを聴く機会を大切にしていきたいと感じます。

そして、何より大切な「風通し」。職員同士が気づいたことや感じた小さな違和感を、そのままにせず、安心して声を上げられる。そんな職場をみんなで作っていくこと。私自身、所長として、職員がやりがいと誇りを持ち、心も体も健やかに働き続けられる環境をつくる。それが私の最も大切な役割だと、改めて心に刻みました。

(ぼぶら事業所 所長 菊地 英文)

参加者の感想から

- 血のかよった者同士なので、心のゆとりをもつようにし支援していききたいと思えます
- 「人間の弱さ」「自分の弱さ」について大変共感できるものでありました
- 些細なことでも利用者にはどう感じているか、どう伝わっているかを職員間で日々話し合われることが大切です
- 利用者ひとりひとりの思いに寄り添える支援ができるよう、職員もまたストレスや不満をため込まない環境づくりも必要と感じました
- 「選ばれる施設」をめざして、働きやすい職場を作ること、皆が利用者さんの意思に共感できる良いチームにならなければと、改めて感じているところです



石狩市手をつなぐ育成会

平野秋夫前会長を偲ぶ会

「追悼の幕開け」

令和7年5月31日(土)、石狩市市民プール多目的ホールにて「故・平野秋夫前会長を偲ぶ会」が開催されました。主催は、NPO法人石狩市手をつなぐ育成会、(偏)ノソ、石狩市障がい者支援センター保護者会、(偏)はるにれの里の四団体による共催で、会場には約75名の関係者のご遺族の皆様が参列され、温かく穏やかな雰囲気の中、平野氏の長年のご功績を振り返り、在りし日のお姿を偲ぶ時間となりました。



「思い出を語り合って」

開会にあたり1分間の黙祷が捧げられた後、三浦敏子会長より、平野氏のこれまでの育成会における歩みや功績について報告がありました。石狩市長 加藤龍幸様から心のかもったご挨拶をいただき、北海道手をつなぐ育成会会長 佐藤春光様、(偏)はるにれの里理事長 木村昭一様には平野前会長との思い出を語っていただきました。

また、スクリーンに若き日の平野氏の姿が映し出され、会場は懐かしさと感謝の想いに包まれました。石狩市障がい者支援センター保護者会 福江ひろみ会長、当会副会長 大江康恵氏は言葉を詰まらせながら故人との思い出を語り、石狩大地の会 福江彰会長や大矢和子副会長からは「これからも平野会長を

思い出して頑張ります！見守っていてください」と決意のお言葉をいただき、さらにグループホームカリブ 佐々木啓介さんの「会長がいなくて淋しいよ」とのお言葉にあらこちからすすり泣く声が聞かれ、会場は悲しみに包まれました。(偏)障がい者支援施設生振の里施設長 市川博康様からは「大地の会」創設にまつわる思い出を、ケアホームカリブ前管理者の鎌田徹様からはケアホーム立ち上げ時の懐かしい思い出と追悼の言葉が続きました。

「涙と笑顔に包まれて」

当日は奥様のご配慮により参列者全員に飲み物がふるまわれ、多くの方から寄せられたメッセージカードは心を込めてご遺族へ贈らせていただきました。涙と笑顔の余韻のなか、(偏)ノソ 神崎征治理事長が旧友としての想いを語り、会は静かに幕を閉じました。偲ぶ会を通して改めて手をつなぐ育成会の志を共有することができました。ご参加くださった皆様には感謝申し上げます。



(NPO法人石狩市手をつなぐ育成会

理事 今西 浩子)

続報

千歳大会

7年ぶりの開催 3つの分科会

第1分科会は、「意思決定支援、合理的配慮、人権、制度」をテーマとした分科会です。全

育連常務理事 又村あおいさんのコーディネートのもと、江別育成会 小林鉄也さんが「親として、支援者として想うこと」を、札幌市育成会 深宮しのぶさんが「知的障がい者が安心して投票でき、わかりやすい選挙をめざす取り組み」を報告します。

第2分科会は、「災害への備え、避難システム、福祉避難所の現状」について、全道の育成会の災害アンケートの結果報告、北広島親の会の加藤裕子会長が親の立場から災害時の不安や課題について、穂別親の会の藤原真希さんが胆振東部地震の経験について、北ひろしま福祉会 石黒尚行さんが能登半島地震での災害地支援の経験から、コーディネート(偏)伊達コスモス21理事長 大垣勲男さんが伊達市の災害避難システムについての報告をします。

第3分科会は、「権利擁護と地域への啓蒙、育成会活動の活性化、本人支援・本人会活動の充実」をテーマに、P&Aいしかりにおける地域づくり活動について、石狩市育成会副会長 石尾いく子さんが報告、育成会活動と本人支援について、名寄育成会 岩崎甚一郎さんと本人の澤田亜希さんが報告します。コーディネートは全育連会長 佐々木桃子さんです。

どの分科会も、学びの多い報告と熱い討論が期待されます。

9月の予定

1日(月) 第3回理事会

17、26日 かでる閉館

27日(土) 全道大会千歳大会

障害のある方向け 総合保険

あ！それウチかと思った方！

ぜんちの あんしん保険

障害のある方とそこご家族へ
少額短期健康総合保険（無告知型）2019年創設

- ・病気とケガにしっかり備える
- ・告知や障害者手帳は不要
- ・入院日額最高1万円

- ・権利擁護費用補償
- ・総合生活保険（個人賠償責任補償）で賠償責任を補償（国内は東京海上日動の示談交渉サービス付き）

入通院の悩み

- ・突然の病気やケガが心配
- ・入院時の出費に備えたい
- ・障害があっても入れる保険を探している

賠償の悩み

- ・パニックになって他の人にケガをさせてしまったらどうしよう
- ・デイサービスでヘルパーさんのメガネを壊してしまった

相談しにくい悩み

- ・虐待や差別を受けた
- ・詐欺に遭わないか心配

ぜんちの こども傷害保険

特別支援教育を
必要とされている方へ
権利擁護補償付傷害保険 2019年創設

- ・特別支援教育を必要とされているお子様に
- ・ケガによる入通院を日額保障

- ・権利擁護費用補償
- ・総合生活保険（個人賠償責任補償）で賠償責任を補償（国内は東京海上日動の示談交渉サービス付き）

詳しい資料のご請求・お問い合わせはこちら

24TX-004230（2024年12月作成） Z012-2411R00

取扱代理店（資料請求・その他お問い合わせ）

ぜんち共済株式会社 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5
関東財務局長（少額短期保険）第14号 九段北325ビル4階

平日10時～16時
土日・祝日・年末年始を除く

0120-322-150

URL: <https://www.z-kyosai.com/>

※このご案内は、保険の概要についてご紹介したものです。契約にあたっては「ご契約に際しての重要事項」「約款」「東京海上日動の『重要事項説明書』」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合は、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。補償を受けられる方またはその家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。

有限会社オフィスブレイン

〒060-0032

北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2F

TEL：011-207-2522 FAX：011-207-2523

知的障がい児者・発達障がい児者（自閉症児者を含む）の 生サポは 家族の安心を支えます

●日常生活に関する相談支援

●就労に関する相談支援

●権利擁護に関する相談支援 の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、発達障がい児者（自閉症児者を含む）のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

生活サポート総合補償制度は…

全国で約15.7万人※のみなさまにご利用いただいている補償制度です。

※2024年11月時点

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、
職業従事者事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー 北海道支店

〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102

レジディア大通公園2F

TEL：011-221-7009 FAX：011-221-1704

受付時間：午前9時～午後5時

（土・日・祝日・年末年始を除く）

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

<https://www.aig.co.jp/sonpo>

札幌支店

〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F

TEL：011-204-7510

受付時間：午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 4階

北海道手をつなぐ育成会内

TEL：011-251-0855 FAX：011-251-0804

受付時間：午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）

2025年1月現在の内容です。（D-007611 2026-03）

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の
目的です。私たちは、『経営』と『志』の統一を
目指しています。体力のある事業所も体力のない
事業所も助け合います。あなたの事業所の入会を
待っています。

北海道手をつなぐ育成会 事業所協議会

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7（4F）

電話（011）251-0855／FAX（011）251-0804

E-mail：doikusei@air.ocn.ne.jp

★会員事業所紹介★

一般社団法人 ゆっくりん

しべちゃコスモス

〒088-3213 川上郡標茶町常盤8丁目2番地

TEL（015）486-9777 FAX（015）486-9800

E-mail：cosmos@msknet.ne.jp

★就労継続支援B型

☆定員 20名

★主な作業

- ☆木工 手芸
- 野菜 受託作業
- 菓子 その他

